

個別施策 I - (2)

多様な担い手が活躍する機会をつくる

重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	実績値					目標値
		計画策定時	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
創業支援件数【年間】	件	93	135	157	152		180
新たな農の担い手数【累計】	人	8	17	24	39		38

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- 関係機関と連携して、まちぐるみで創業者をサポートする体制を構築したほか、事業者ニーズに即した融資制度や経営課題に対する相談体制を拡充しました。
- 製品の特性や信頼性向上などに関する市内企業と大学との共同研究について、企業から3件相談がありましたが、補助金申請には至りませんでした。また、平塚海洋エネルギー研究会の活動を推進し、波力発電関連分野での新産業創出のスキームの研究を進めました。
- 農作業受託組織へ農業機械等購入費の一部補助を行うとともに、一市二町及び湘南農業協同組合等で構成する湘南地域担い手育成総合支援協議会事業において、担い手の育成・確保を図りました。また、認定新規就農者に対して国の交付金を活用し、就農当初の資金について支援しました。
- 「まちゼミ」等に対する支援を通じて、若手事業者間の自主的な活動を促進しました。

施策を推進する上での「課題」

- 創業環境の醸成から起業後の経営安定化や事業拡大のための支援や事融資制度、経営相談等の拡充を関係機関と連携し、継続して実施する必要があります。
- 市場の開拓も視野に、中小企業等のニーズと大学等のシーズを結びつける機会の創出を図る必要があります。また、地方創生推進交付金の事業年度内に、波力発電の実証実験実施の目途をつける必要があります。
- 担い手不足を解消するため、新規就農に関わる様々な相談に対応し、新規就農者を確保していく必要があります。

課題解決を図るための「取組方針」

- 関係機関と連携を図り、「ひらつか創業サポーターズ」をはじめ、一連の創業支援を推進するほか、事業者ニーズに添った融資制度や経営相談等を充実していきます。
- 中小企業のニーズや大学のシーズを把握するとともに、情報交換の機会を充実させ、産学の連携を推進していきます。また、波力発電装置をシーズとした新産業創出のスキームを研究し、新しいしごとのタネを創出します。
- 関係機関と連携して、農業支援ワンストップ相談窓口を出張して開催するほか、認定新規就農者の確保に向けて、サポート体制を整え、バックアップをしていきます。

● 中心市街地の活性化を促進するため、けん引役となる人材の発掘、育成が必要です。

● 中心市街地の活性化に向けた事業に対し主体的に取り組む組織づくりを推進する中で、中心市街地の活性化を担う人材を発掘、育成します。

関連する【取組】と（事業）

【次世代の産業の担い手となる起業家の育成】（起業家支援事業）（中小企業経営支援事業）

【企業や大学の有する情報や知識の結合を促すことによるイノベーションの誘発】（産学共同研究支援事業）（波力発電関連分野での新産業創出促進事業）

【専門家の派遣による中小企業の販路開拓や経営力強化の支援】（中小企業経営支援事業）

【中小企業に対する融資制度の紹介や経営改善相談】（中小企業経営支援事業）

【農業の多様な担い手の育成支援や地域農業の活性化支援】（担い手総合対策事業）

【中心市街地の活性化のための担い手の育成支援】（商店街にぎわい創出事業）